

2019年度 高等専門学校生インターンシップ 募集一覧

北見工業大学

テーマ 番号	受入学科	コース名	受入教員	実習テーマ	研修内容	対象学生	留学生	受入時期・期間	備 考
1	地球環境工学科	エネルギー総合工学	田村 淳二 教授 高橋 理音 准教授 梅村 敦史 助教	再生可能エネルギー電源を含む電力系統の計算機シミュレーション解析	電力系統解析シミュレーターPSCAD/EMTDCあるいはMATLABを利用して、風力発電等の再生可能エネルギーシステムを有する電力系統のシミュレーション実習を行う。	電気工学系 1～2人	可	8月上旬～9月下旬 (実質実習期間5日)	
2	地球環境工学科	エネルギー総合工学	小原 伸哉 教授	エネルギーシステムの実験と調査(燃料電池、コジェネレーション、再生可能エネルギーなど)	エネルギーシステムの運転特性を実験で得て、このデータから適切な導入方法をデザインする。1週間程度の研修です。	機械工学系 電気工学系 化学・物質工学系	可	8月～9月 (実質実習期間7日)	
3	地球環境工学科	エネルギー総合工学	武山 真弓 教授	IoTを活用したエコスマート農業次世代スーパーコンピューターに搭載される新しいデバイスの開発	卒業論文の学生のお手伝いをしながら、模擬的な卒業研究を体験する。	機械工学系 電気工学系 電子制御工学系 化学・物質工学系 全体で数名	応相談	8月～9月 (実質実習期間5日)	白衣など作業用できる服装、上履き持参のこと。
4	地球環境工学科	エネルギー総合工学	松村 昌典 准教授	実験流体力学に関する実習	風洞による乱流計測実験、水路による流れの可視化実験、風車やサイクロン集塵器のような流体応用機器の開発研究、などの体験(具体的内容は応相談)	機械工学系 若干名	応相談	8月26日～9月6日 (実質実習期間4～5日)	
5	地球環境工学科	環境防災工学	川口 貴之准教授 中村 大 准教授 川尻 峻三 准教授	地盤構造物や地盤防災技術に関する調査・研究の体験	私たちの研究室では、盛土や堤防、補強土壁といった地盤構造物に関して、実物大規模の大型実験を行っています。また、豪雨や地震に対する地盤防災技術に関しても最新の表面波探査やX線CTスキャン装置などを最先端技術を駆使した研究を進めています。本研修では、私たちの研究室に所属する学生たちと一緒に調査や研究に参加していただきます。	土木・建築学系 3人 環境都市工学系 3人	応相談	8月～9月 (実質実習期間5日)	できれば作業服を持参ください
6	地球環境工学科	先端材料物質工学	服部 和幸 准教授	糖質の化学と工学	糖の化学反応や合成を行い、分子構造を解析したり物性を調べる。 実験・実習を実施。	化学・物質工学系	応相談	8月～9月	化学を学習したことのあること。有機化学に興味があれば望ましい。
7	地域未来デザイン 工学科	機械知能・生体工学	星野 洋平 教授 ソイ 助教 楊 亮亮 助教	移動ロボット遠隔操作システムの構築	当研究室では移動ロボットの遠隔制御システムの改良のための研究を行っています。本インターンシップでは博士前期課程または修士学位论文の研究に関する実験・実習の補助を行います。	機械工学系 電気工学系 電子制御工学系	応相談	9月1日～9月20日 (実質実習期間7日)	ノートパソコンを持参することが望ましい。
8	地域未来デザイン 工学科	機械知能・生体工学	ウラ シヤリフ 教授	3Dプリンターを用いたものづくり	3Dプリンターを用いた形づくりにおける設計段階から実物製造段階までの主な工程を演習や実習を通して学習すること。製品開発の流れを学習すること。	機械工学系 電気工学系 電子制御工学系 情報工学系 化学・物質工学系 土木・建築学系 環境都市工学系	可	8月15日～9月15日 (実質実習期間7日)	日本語及び英語で対応可能。 美的形、自然界に存在する形、又は工学的形に対応。
9	地域未来デザイン 工学科	機械知能・生体工学	吉田 裕 准教授	X線を利用した材料内部の応力・ひずみ測定	材料強度及び力学への応用等	機械工学系 1人	応相談	8月下旬～9月中旬 (実質実習期間5日)	

2019年度 高等専門学校生インターンシップ 募集一覧

北見工業大学

テーマ番号	受入学科	コース名	受入教員	実習テーマ	研修内容	対象学生	留学生	受入時期・期間	備考
10	地域未来デザイン工学科	機械知能・生体工学	ラワンカル アビジート 助教	プログラミング・コンピュータビジョン・ロボットに関する実習 (テーマの詳細については要相談)	ゼロから必要なプログラミングを学習し、コンピュータビジョンについて面白いプロジェクトを完成します。余裕があればロボットも使います。	機械工学系 1人 情報工学系 1人 合計2人	可	8月～9月 (実質実習期間7日)	ノートPCを持参することが望ましい
11	地域未来デザイン工学科	情報デザイン・コミュニケーション工学	柘井 文人 教授	情報科学的アプローチによるカーリング支援に関する研究活動への体験参加	カーリング: 試合情報分析を通して試合やチームの戦術的特徴の発見・検討を体験する	電子制御工学系 若干名 情報工学系 若干名	可	8月1日～9月30日 (実質実習期間7～14日)	ノートパソコンを持参することを推奨する。
12	地域未来デザイン工学科	情報デザイン・コミュニケーション工学	柘井 文人 教授	情報科学的コンテンツツーリズムに関する研究活動への体験参加	コンテンツツーリズム: 観光行動や潜在的ニーズの特徴発見のためのアンケート分析・設計を体験する	電子制御工学系 若干名 情報工学系 若干名	可	8月1日～9月30日 (実質実習期間7～14日)	ノートパソコンを持参することを推奨する。
13	地域未来デザイン工学科	情報デザイン・コミュニケーション工学	フタシンスキ ミハウエドムンド准教授	日本語のための感情解析システムの改良	日本語のための感情解析システムの改良: 日本語のブログ記事などを読んで、各文で表される感情の種類を考えて注釈を行う。最後には感情解析用の人工知能システムに導入して成果を確認する。	情報工学系 若干名	可	8月15日～9月30日 (実質実習期間7～14日)	ノートパソコンを持参することを推奨する。
14	地域未来デザイン工学科	情報デザイン・コミュニケーション工学	フタシンスキ ミハウエドムンド准教授	情報技術を用いたアイヌ語の活性化	情報技術を用いたアイヌ語の活性化: アイヌ語の電子化された資料のクリーニング(文字認識の間違いを探し修正)。	情報工学系 若干名	可	8月15日～9月30日 (実質実習期間7～14日)	ノートパソコンを持参することを推奨する。
15	地域未来デザイン工学科	社会インフラ工学	三上 修一 教授	オホーツク圏の橋梁劣化度診断と評価	オホーツク圏の劣化橋梁の状況を理解し、橋梁点検を実習しその点検結果より劣化状況を評価し橋梁の健全度を知る。地域の橋梁の健全状態を把握するための知識を身につけることができる。	土木・建築学系 2人	応相談	8月7日～9月15日 (実質実習期間5～10日)	野外調査ができること。
16	地域未来デザイン工学科	バイオ食品工学	新井 博文 教授	細胞培養操作の体験	クリーンベンチにおける無菌操作と細胞培養の基本技術を学ぶ。	化学・物質工学系 若干名	応相談	8月19日～8月23日 (実質実習期間5日)	筆記用具、白衣、安全メガネ
17	地域未来デザイン工学科	バイオ食品工学	佐藤 利次 准教授	1.食用キノコの培養と酵素活性の測定、2.発酵物の成分分析、3.シイタケや大腸菌の遺伝子解析、など	1.シイタケ等の食用きのこを培養し、培養液中の酵素(ラッカーゼ)活性測定とタンパク質の測定を行う。2.成分分析では、キノコで発酵させた農産物のポリフェノール量の定量、あるいは酢酸発酵物の酢酸滴定などを行なう。3.遺伝子解析に関しては、PCRによる遺伝子の増幅とその確認や、シイタケや大腸菌の形質転換、プラスミドDNAの調製と確認などを行なう。以上のうちのいずれかに関して行なう予定。	情報工学系 若干名 化学・物質工学系 若干名 土木・建築学系 若干名 環境都市工学系 若干名 トータルで3人以内	応相談	8月19日～9月27日 (実質実習期間5日)	白衣あるいは作業服、及び上履き持参が望ましい

地球環境工学科・地域未来デザイン工学科 地域マネジメント工学コース 今年度募集なし